News Release

株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency,Ltd.

26-D-1066
2026 年 11 月 20 日

JT がロシア連結子会社を連結除外及び子会社の支配喪失に伴う損失計上を発表ー信用力への影響は限定的

以下は、日本たばこ産業株式会社（証券コード：2914）のロシア連結子会社 7 社を連結範囲から除外することについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

(1) 11 月 19 日、当社は、ロシア大統領令により一時管理の対象となった当社グループのロシア連結子会社 7 社について、11 月 6 日付で連結範囲から除外することを公表した。これに伴い、26/12 期において子会社の支配喪失に伴う損失約 1 兆 3,770 億円を計上する見込みとなった。また、26/12 期の通期予想を下方修正し、営業損失は 3,680 億円（前回予想 1 兆 410 億円の黒字）、親会社所有者に帰属する当期損益は 7,240 億円の赤字（前回予想 6,620 億円の黒字）となると発表した。

(2) ロシア事業は当社グループの売上収益の約 10%、調整後営業利益の約 25%を占めており、業績面での寄与は大きい。また、ロシア現地法人の連結除外に伴い、多額の支配喪失損失を計上する見込みであり、財務構成への影響は小さくはないと考えられる。一方で、ロシア事業を除いても強固な事業基盤に変化はない。27 年から 29 年までの全社為替一定ベース調整後営業利益は年率 10%超の成長を見込むなど全体の業績も好調に推移している。今般の連結除外により自己資本の減少や財務諸指標の悪化は見込まれるものの、キャッシュフロー創出力や当社の財務運営方針を勘案すると、信用力への影響は限定的であると判断している。今後の一時管理の運用状況やロシア事業に係る資産・権利への影響、今後の財務構成の変化について、引き続き注視していく。

（担当）井上　肇・三浦　麻理子

【参考】

発行体：日本たばこ産業株式会社
長期発行体格付：AA+　　見通し：安定的

■留意事項
本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■NRSRO 登録状況
JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先
情報サービス部　　TEL：03-3544-7013　FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者　金融庁長官（格付）第 1 号
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8　時事通信ビル

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.